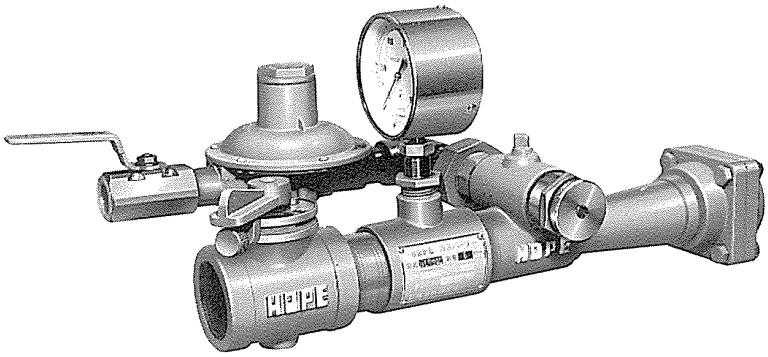
HG51130

ホープ　HVM型
低圧ベンチュリーガスミキサー
取扱説明書



（株）横井機械工作所

〒４６３－０００２　名古屋市守山区中志段味大洞口２７２０－１

ＴＥＬ.０５２（７３６）０７７３

ＦＡＸ.０５２（７３６）０２５８

目　　次

１．製品と付属品の確認・概要・仕様　　・・・・１

２．安全上のご注意　　・・・・２．３

３．配管取り付け方法と注意事項　　・・・・４

４．警告プレートについて　　・・・・５

５．　図面添付　　・・・・６

この度はホープＨＶＭ型低圧ベンチュリーガスミキサーをお買いあげいただき誠にありがとうございます。充分な性能を満足していただくため、また安全及び保守・点検等のためこの取扱説明書をよくお読み下さいますよう、お願い申しあげます。

この取扱説明書は施工業者様はもとよりエンドユーザー様まで確実にお届け下さい。

購入時の点検確認

ご注文通りの製品かどうかバーナーの銘板と下記仕様表でご確認下さい。
また輸送中の破損等の有無を点検して下さい。

概　要

本機は、低圧空気により燃料ガスを比例吸引し、完全混合状態のミックスガスをバーナーに供給するミキサーです。プレミックスバーナー単体又は、複数に接続して使用されます。ガス圧が調整器等により低圧２．８kPa（280mmH_2O）に減圧された燃料ガスは、ゼロガバナーによりゼロ圧（大気圧）に調整され、エアーノズルより噴出されたエアーのベンチュリー効果により比例的に吸引されます。一定の比率で吸引されたガスとエアーはミキシング管を通過する間に混合されます。又、ゼロガバナーを均圧弁に替えて、ローディング圧力を加えて強制的にガスとエアーを混合する事も出来ます。

仕　様

型　式	燃焼容量 kW（×10^4kcal/h）	接続口径（A）		
		空気	ガス	混合ガス
ＨＶＭ－１	７２　（６．２）	４０	２０	４０
〃　－２	１３０　（１０）	５０	２５	５０
〃　－３	２７６　（２０）	８０	３２	８０
〃　－４	５１７　（３０）	１００	４０	１００

※ 基準圧：ガス　２．８kPa（280mmH_2O）　　空気　６kPa（600mmH_2O）

安全上のご注意

取付工事、試運転調整、保守・点検の前に必ずこの取扱説明書とその他の付属書類をすべて熟読し、機器の知識、安全の情報、そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用さい。この取扱説明書では、安全注意事項のランクを「高度の危険」「危険」「注意」とし区分してあります。

高度の危険

取り扱いを誤った場合に、極度に危険な状態が起こり得て、死亡又は重傷を受ける可能性が想定される場合。

危　険

取り扱いを誤った場合に、危険な状態が起こり得て、死亡又は重傷を受ける可能性が想定される場合。

注　意

取り扱いを誤った場合に、危険な状態が起こり得て、中程度の障害や軽傷を受ける可能性が想定される場合及び物的損害のみの発生が想定される場合。

尚、**注　意** に記載した事項でも状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載しておりますので、必ず守って下さい。

絵表示の意味		例
強制	行為を強制・指示する内容があることを告げるものです。近くに具体的な強制・指示内容が描かれています。	必ず行う
禁止	禁止の行為であることを告げるものです。 近くに具体的な禁止内容が描かれています。	接触禁止
注意	注意を促す内容があることを告げるものです。 近くに具体的な注意内容が描かれています。	高温注意

必ずお読み下さい

● 高度の危険

着火動作の前には必ず炉内をプレパージして下さい。
特に着火動作を連続で繰り返すと、炉内に溜まったガスで爆発事故を起こす危険性があります。
火炎検出等の安全装置を設置して下さい。

⚠ 危　険

感電注意

点火プラグのスパーク確認等の為、プラグの脱着をする場合は、必ずトランス電源を切ってから、おこなってください。

点火時及び燃焼時に、サイトホールは絶対に外さないで下さい。
※炉内の熱ガスが吹き出すことがあります。

⚠ 注　意

接触禁止

バーナー前板、パイロットバーナー取り付け部周辺は燃焼中特に高温になります、触らないよう注意して下さい。

附属のパッキンについて

1.附属のパッキンは本バーナーのシール以外には使用しないで下さい。
2.交換した後の古いパッキンは、速やかに袋に入れ、廃棄する場合は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に従うこと。尚、焼却処分は行わないこと。

配管取り付け方法

1．エアー及びガスは、必ず同径以上にて配管して下さい。
2．ミキサーをストレートにして使用するスペースのない場合は、角フランジの部分にてエルボ等により、９０°に曲げて使用することも出来ます。
3．比率調整弁とガスの入口を左右入れ変えて使用することも出来ます。但し、比率調整弁を外した時に、ミキサー本体にあるＯ”リングも必ず入れ変えて下さい。
4．シールテープ・ボンド・切粉等が配管内に残らないよう必ず清掃して下さい。電磁弁・ガバナ・バルブ類等の作動不良の原因になります。

注　意　事　項

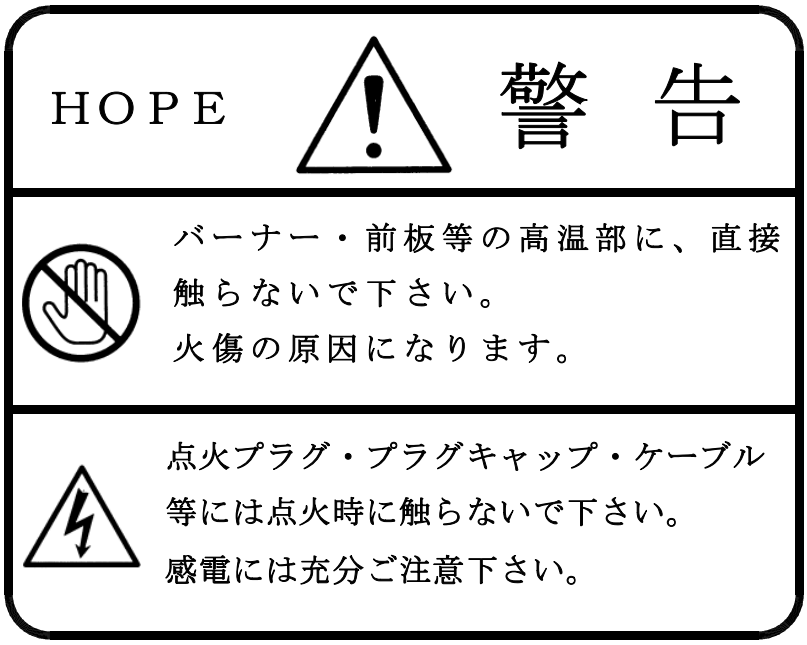
1．均圧方式の場合は、ガス圧力を空気圧力以上に設定して下さい。
2．ゼロガバナー、均圧弁等は調整済ですので内部は触れない様にして下さい。

操　作　方　法

1．エアーダンパー、ガス比率調整弁が全閉になっている事を確認して下さい。
2．エアーダンパーを開き、エアー１～１．５kPa（100～150mmH_2O）程度にする。
3．ガスコックを開いて、比率調整弁を徐々に開いていき、ガスの吸引量が燃焼範囲内になると燃焼が行われます。
4．比率調整弁によるガス量の調整が出来たならば、エアーダンパーの操作のみで燃焼容量が調整出来ます。

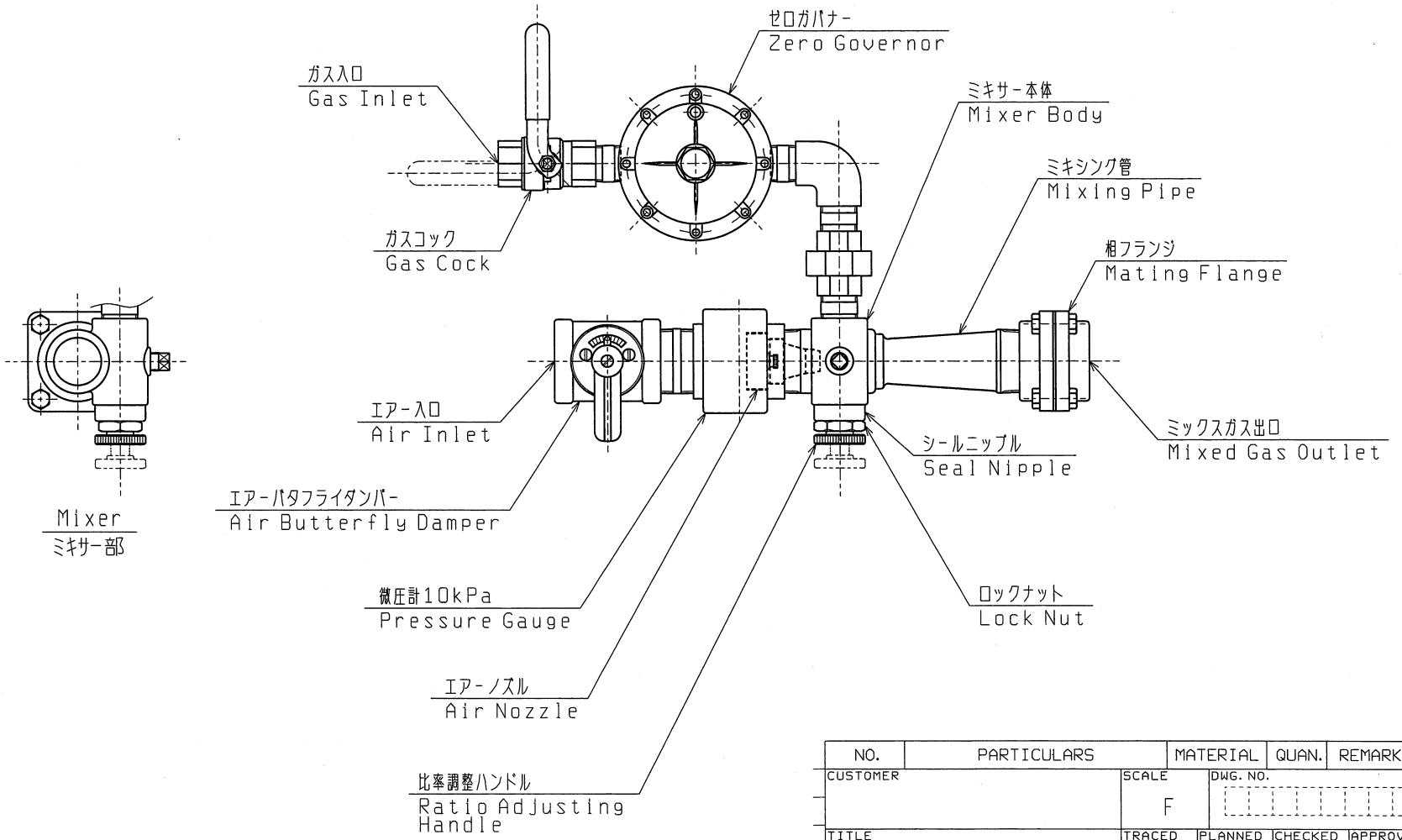
※警告プレートについて

設置工事終了後、下図のような附属の警告プレートをバーナー本体からはずれていないかどうか、確認して下さい。尚紛失した場合は速やかに弊社営業部までご連絡下さい。



HOPE

NO.	PARTICULARS	MATERIAL	QUAN.	REMARKS



NO.	PARTICULARS	MATERIAL	QUAN.	REMARKS
CUSTOMER		SCALE F	DWG. NO.	
TITLE HVM VENTURI GAS MIXER		TRACED	PLANNED	CHECKED / APPROVED
DATE 1999-5-12	YOKOI KIKAI KOSAKUSHO CO., LTD.			

MARK	DATE	CHANGE	BY